

中川原公園の未来を語る会 人吉城跡公園の未来を語る会 合同開催



2024年
2月8日(木)

① 14 : 00 ~

② 18 : 00 ~



中川原公園編



中川原公園の未来を語る会の流れ

1

みんなの中川原公園を**知る**！

10/14(土)

14:00~/18:00~

参加者: 12名/5名

2

みんなの中川原公園の
将来像を考える！

10/28(土)

9:30~

参加者: 20名

3

みんなの中川原公園の
姿を考える！

12/9(土)

9:30~

参加者: 12名

4

みんなの中川原公園の
整備イメージを共有する！

本日

1

第1回 中川原公園の未来を語る会概要

■目的：中川原公園を知る！

■内容：災害復旧に関する説明、質疑応答



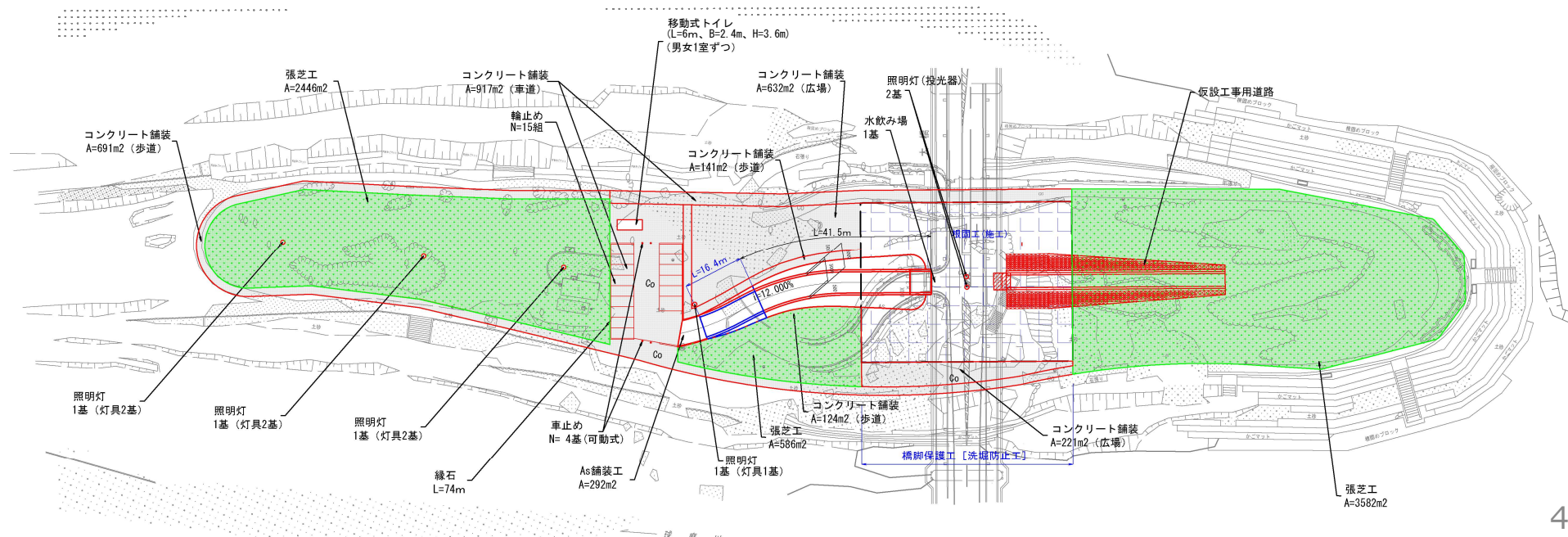
中川原浸水状況（R5.7月）



中川原浸水時の水の手橋状況（R5.7月）

検討結果であったとおり年1回以上は浸水する。
※7月と8月に1回ずつ浸水

今後は浸水を想定した施設と維持管理が重要



1

第1回 成果

【主な意見】

区分		内容
親水空間		- 球磨川と触れ合える場所も作ってほしい。 - 子供が川で活動できる公園にしてほしい。
景観		- 最低でも外側の見える部分（堤防や擁壁）の形状は自然景観に馴染むものにしてほしい。 - 人吉の観光スポットとしてふさわしい形状にしてほしい。 - 地元住民から見た景観を大事にしながら公園検討を進めてもらいたい。
施設	駐車場	- 駐車場は必要ないのではないか。 - 設置した場合、利用時間を制限してほしい。 - 駐車台数を増やしてほしい。
	樹木	- サクラを植えてほしい。難しければ、コスモス等の花を植えてはどうか。 - 植樹の計画について教えてほしい。
	照明	- 安全に散歩ができるように十分な照度を確保してほしい。 - 浸水に備えて防水性の照明を設置することも検討すべき。

1

第2回 中川原公園の未来を語る会概要

■ **目的**：将来像を考える！

■ **内容**：①中川原公園の魅力や思い出、やってみたい活動などを考える
②本当に大切なことを抽出する ③中川原公園の将来像を考える

中川原公園での思い出や欲しい機能

- ・ 川との距離が近い
- ・ 景観
- ・ 人吉城跡との連携
- ・ 市民・宿泊者の散歩コース
- ・ キャンプ
- ・ お祭り
- ・ 川遊び
- ・ グラウンドゴルフ
- ・ マナー管理

中川原公園の本当に大切なこと

- ・ 自然とふれあえる
- ・ 歴史を感じられる
- ・ みんなが気持ちよく使える
- ・ 様々な世代、立場の人々の活動の場になる

中川原公園の将来像

A班

ふれあえる公園！

B班

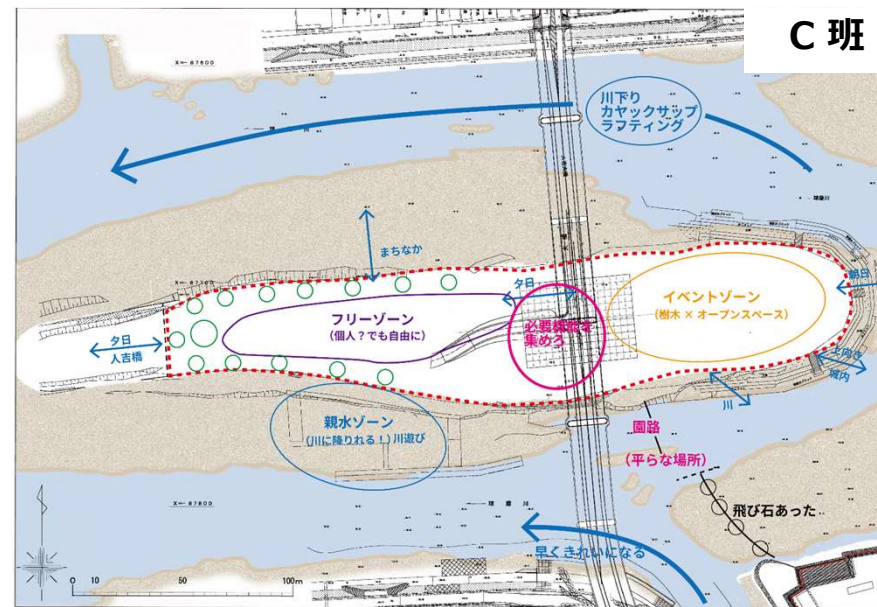
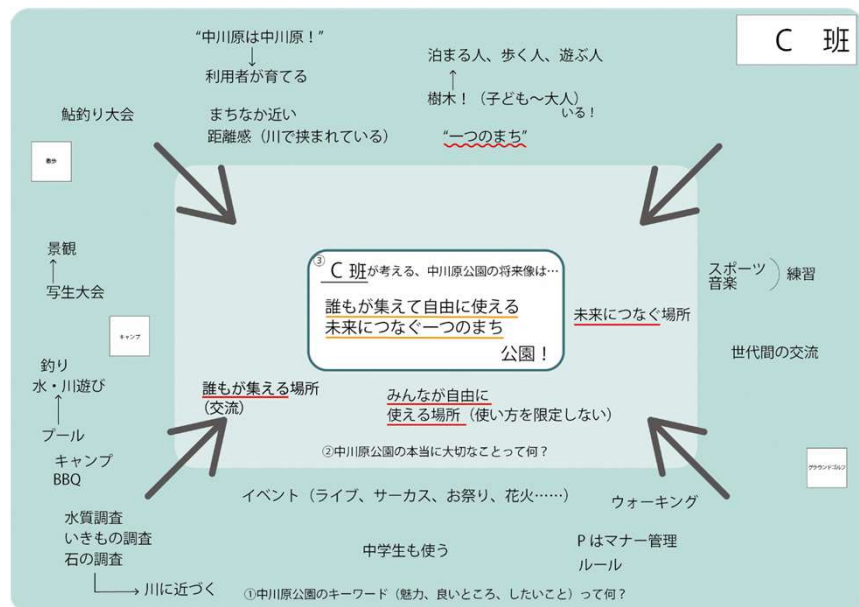
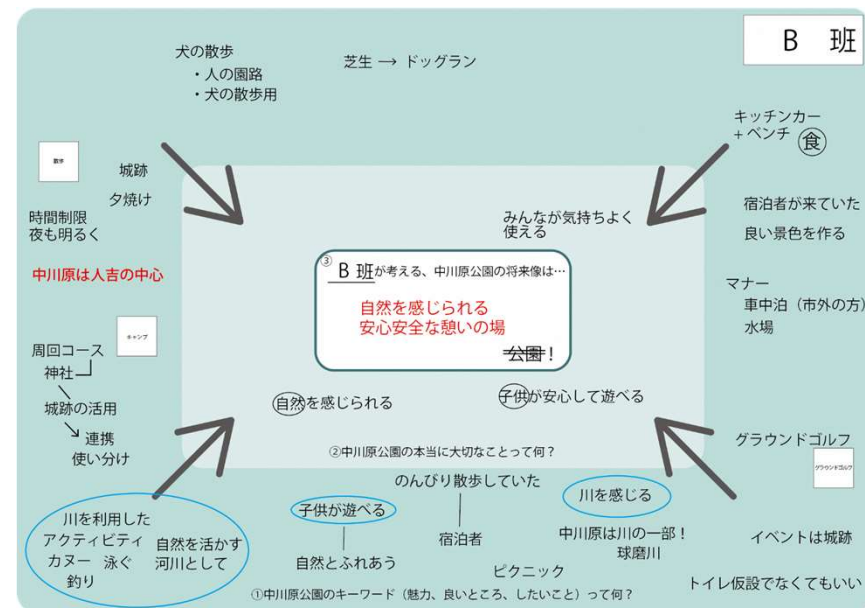
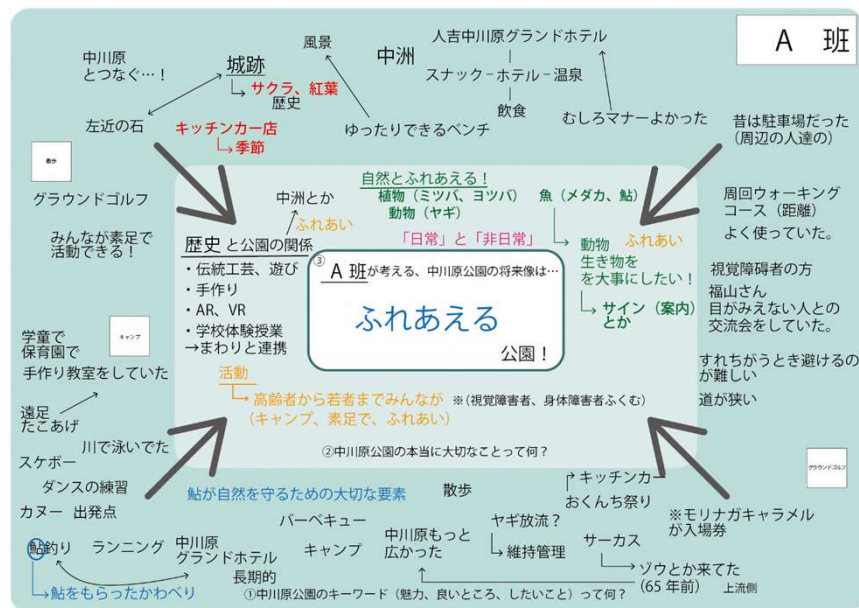
**自然を感じられる
安心・安全な憩いの場**

C班

誰もが集えて、自由に使える未来につなぐ一つのまちのような公園

1

第2回 成果



1

第3回 中川原公園の未来を語る会結果概要

■目的：姿を考える！

■内容：第2回の意見を基にした3案の平面イメージから、
①それぞれの良い点を抽出する、②中川原公園の理想形を描く

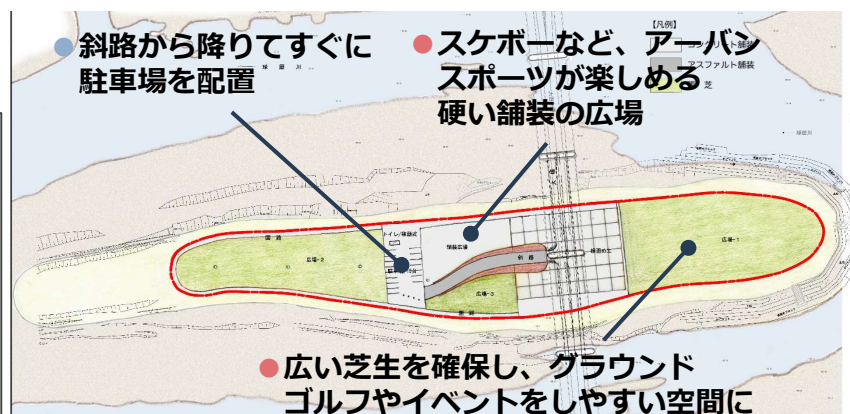
【各案の特徴の概要】

①災害復旧案

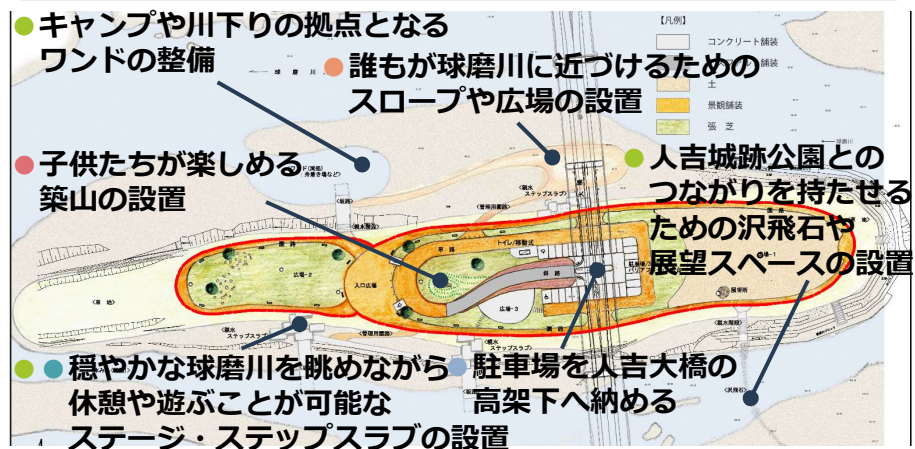
②周辺の施設や自然との関係、遊びの機能を充実した案

③活動が行えるスペースを広く確保した案

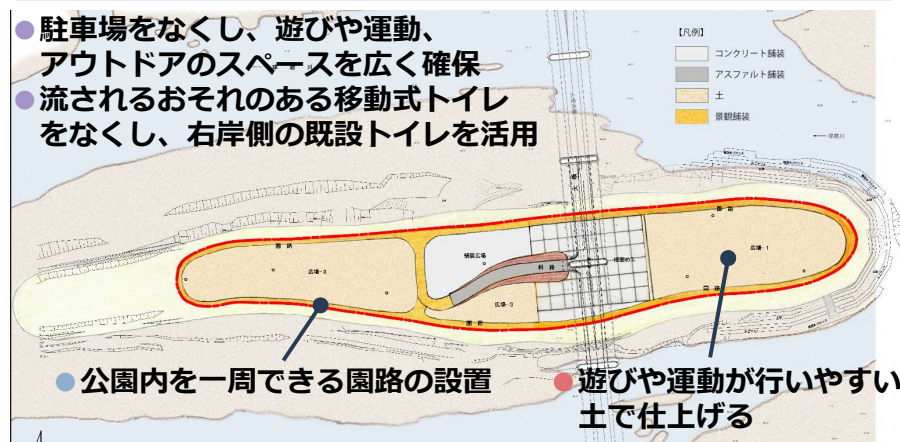
災害復旧工事案



周辺の施設や自然との関係、遊びの機能を充実した案



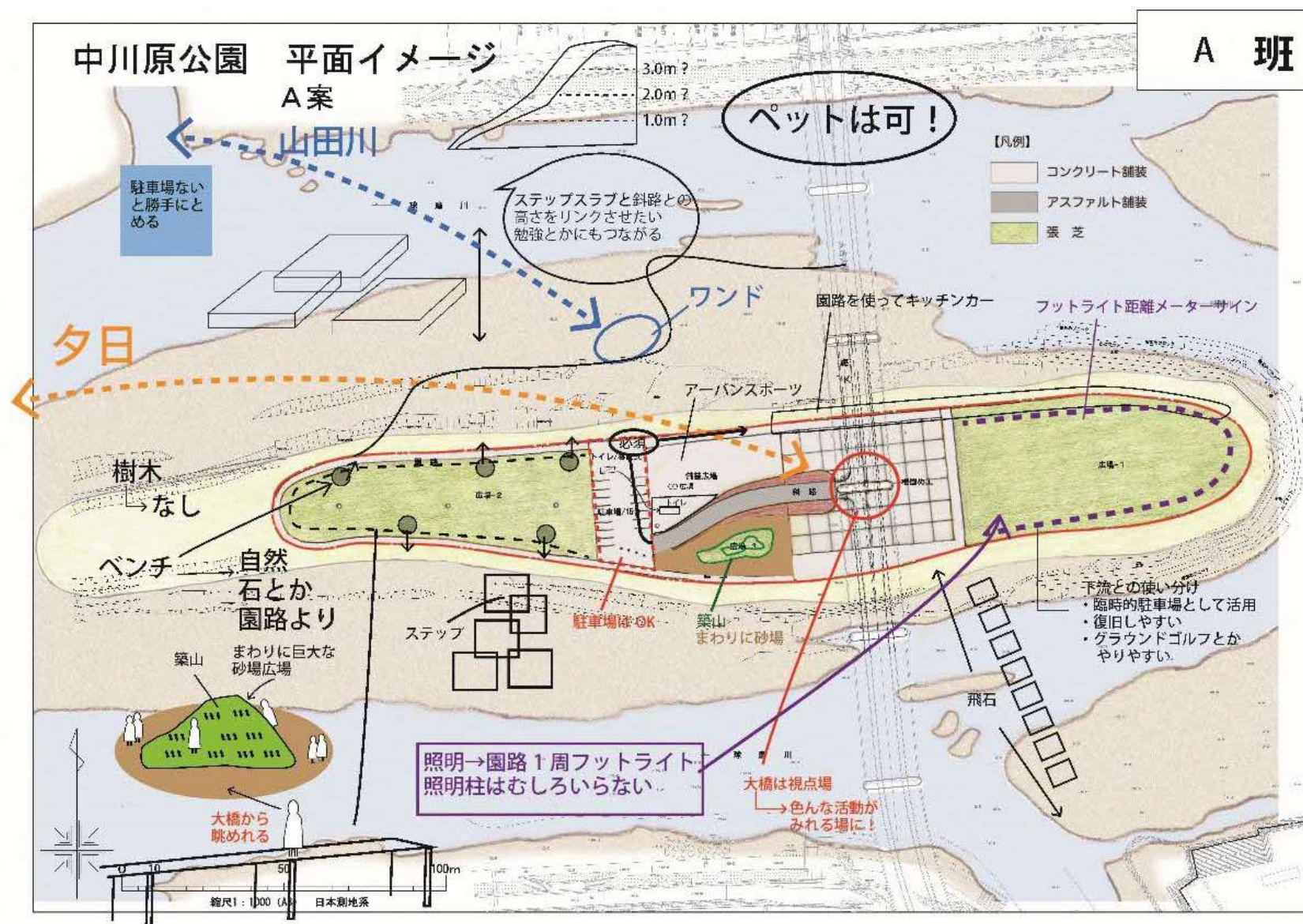
活動が行えるスペースを広く確保した案



1

第3回 成果

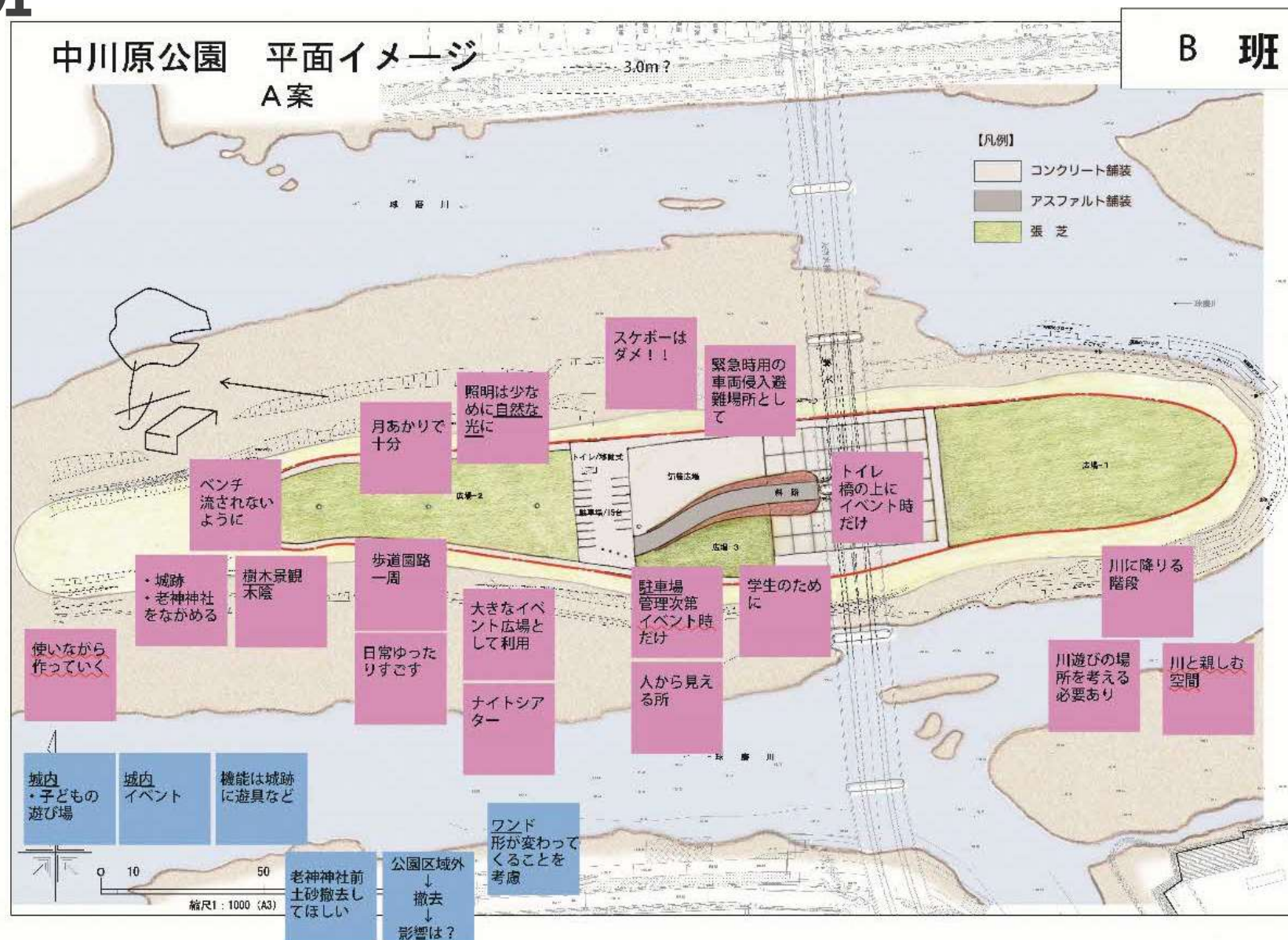
A班

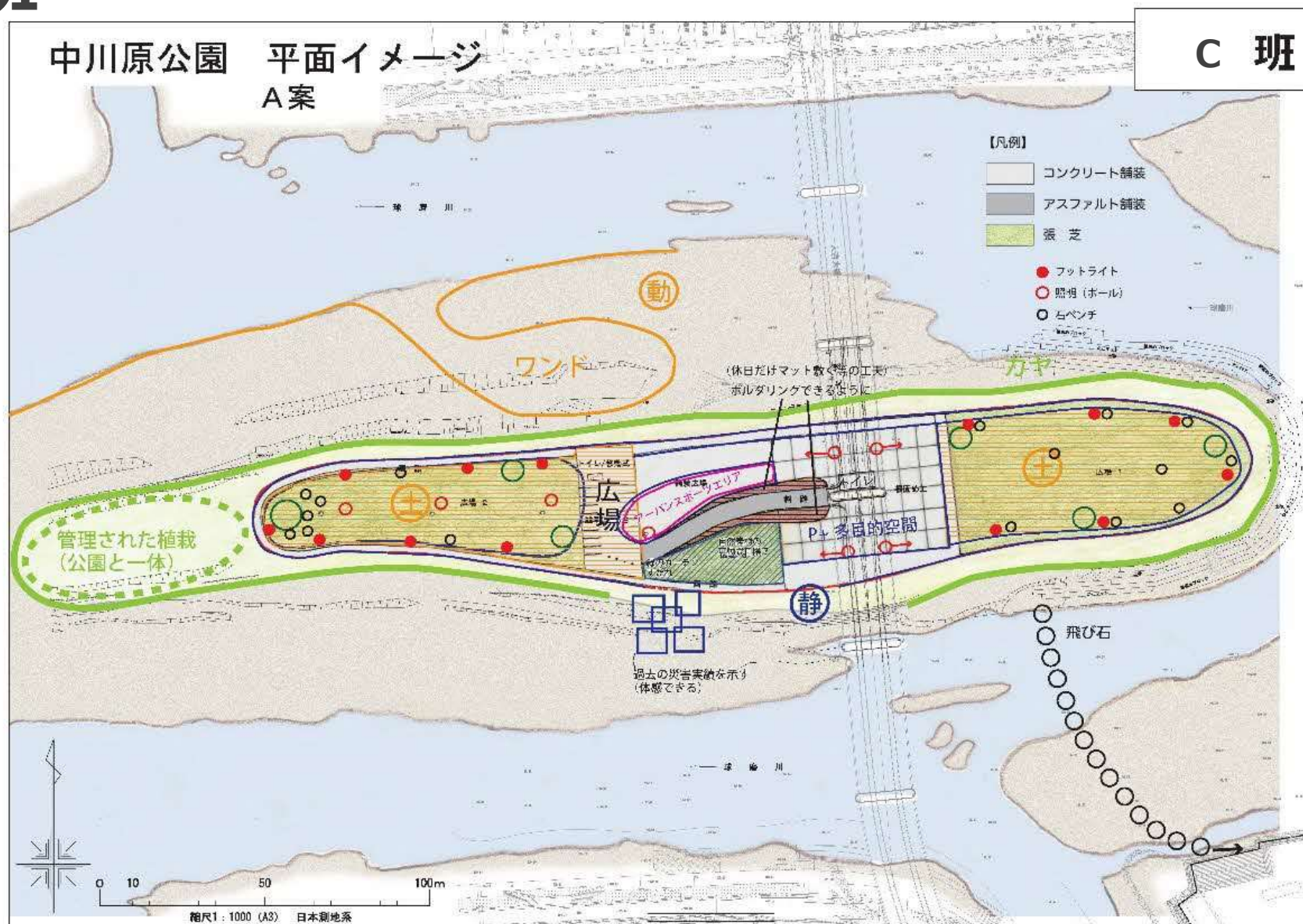


1

第3回 成果

B班





2

整備コンセプト・整備方針

【過去の利用状況】

- 川遊び、釣り、カヌー、河川調査
- スポーツ・楽器の練習、イベント会場
- キャンプ、BBQ、おくんち
- 散歩、ウォーキング、ランニング
- 視覚障がい者の交流会、遠足
- 駐車場、車中泊 など

【これまでの意見】

- 自然・景観（親水空間の整備、季節を感じる工夫、周辺資源と一体的な景観維持 など）
- イベント・アクティビティ（各種イベント会場の整備、アウトドアの拠点の整備 など）
- 歩行空間・照明（安全に歩くことができる園路整備、安全性格のための照明設置 など）
- 交流（日常的に利用者が集う工夫、多様な世代が集う場の整備 など）
- 災害（災害履歴が分かる工夫 など）
- 維持・管理（利用者のマナー向上、公園施設の維持 など）

【目指すべき分野別将来像】

- 1 歴史・地域資源とふれあえること
- 2 河川や樹木などの豊かな自然を感じることに
- 3 多様な目的を持った人々が交流できることに
- 4 自然と共生し安全に過ごせることに
- 5 誰もが気持ちよい時間を過ごせることに

【整備コンセプト】

誰もが自由に
つどい・つかい・つなげながら育む
“止まり木”となる場

【整備方針】

誰もが憩い“つどえる”場

気持ちよく“つかえる”場

様々な要素を受け入れ“つなぐ”場

2

整備コンセプト・整備方針

方針1

誰もが憩い“つどえる”場

- 市民や観光客、子どもや高齢者、活動したい人やくつろぎたい人など、様々な属性や目的を持った人々がつどい・交流する場
- まちなかから少し離れた場所で、安らぎ・憩える場
- 人吉市を代表する球磨川の風景の一部を担う場

方針2

気持ちよく“つかえる”場

- 散歩や井戸端会議など、市民の日常的な居場所となる場
- 非日常体験ができる場
- 水上アクティビティを通じて、川とふれあうきっかけを与える場
- 賑わいを生むイベントが実施できる場
- 一定のルールの上、市民や来街者など、様々な利用者が気持ちよく過ごせる場

方針3

様々な要素を受け入れ“つなぐ”場

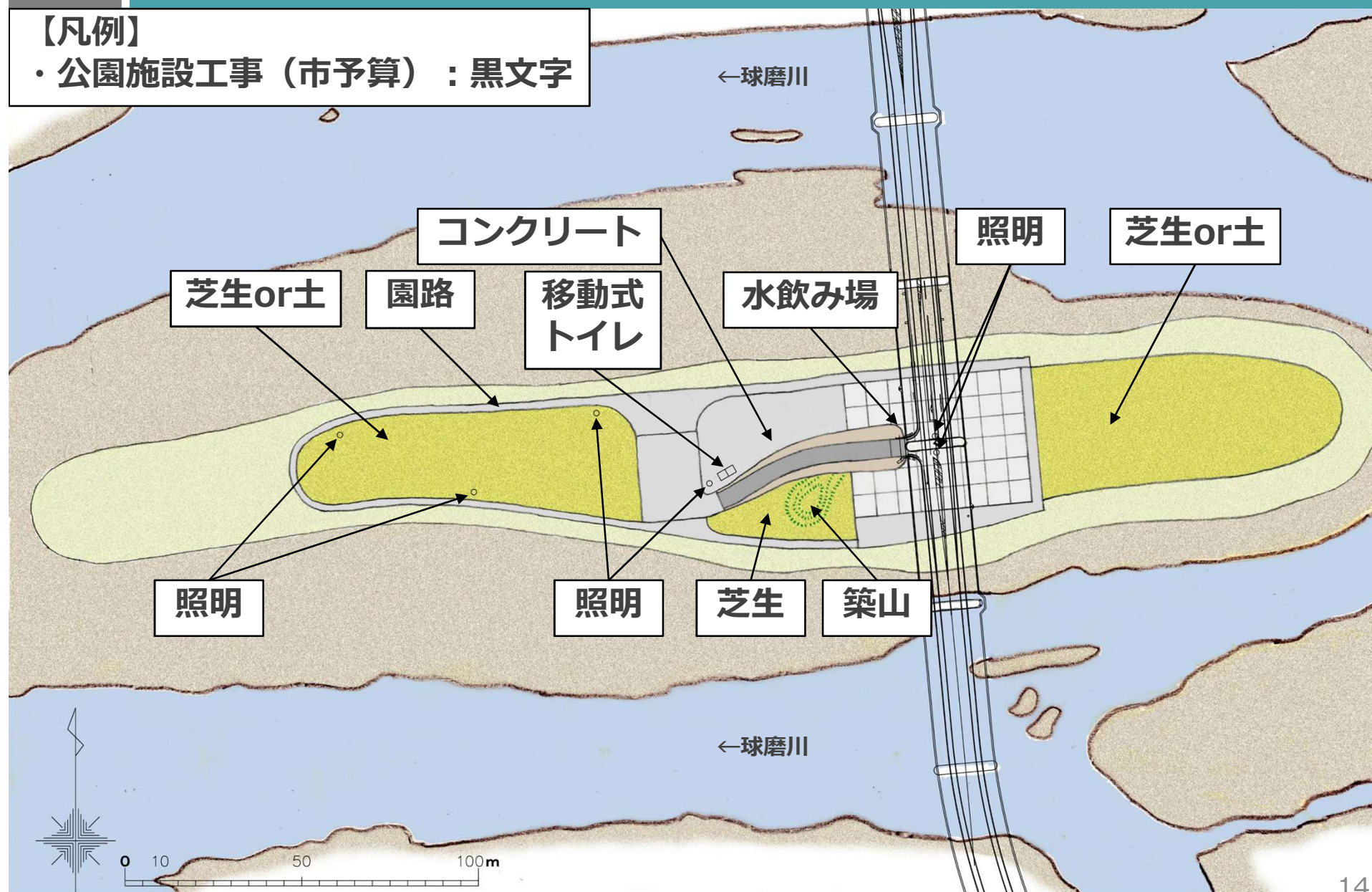
- まちなか・歴史・自然とふれあえる場
- 未来の世代につなげながらともに育てる場
- 災害の記憶の継承や地域の防災学習への活用ができる場
- 定期的な浸水を受け入れ、まち全体の防災力向上に寄与する場

3

整備プラン①（R5～R6年度）

【凡例】

・公園施設工事（市予算）：黒文字

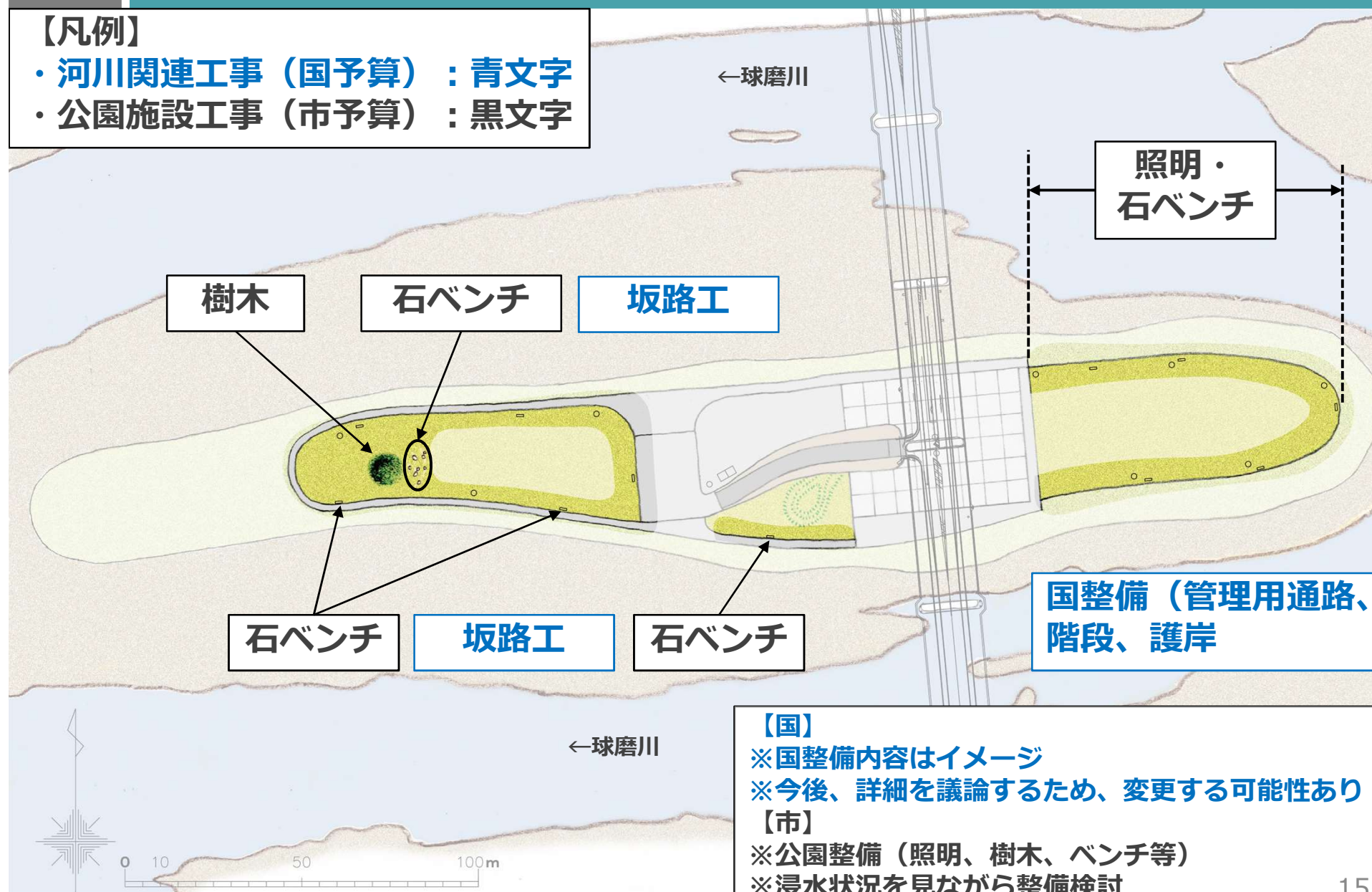


3

整備プラン②（R8年度以降）

【凡例】

- ・河川関連工事（国予算）：青文字
- ・公園施設工事（市予算）：黒文字



【国】

※国整備内容はイメージ

※今後、詳細を議論するため、変更する可能性あり

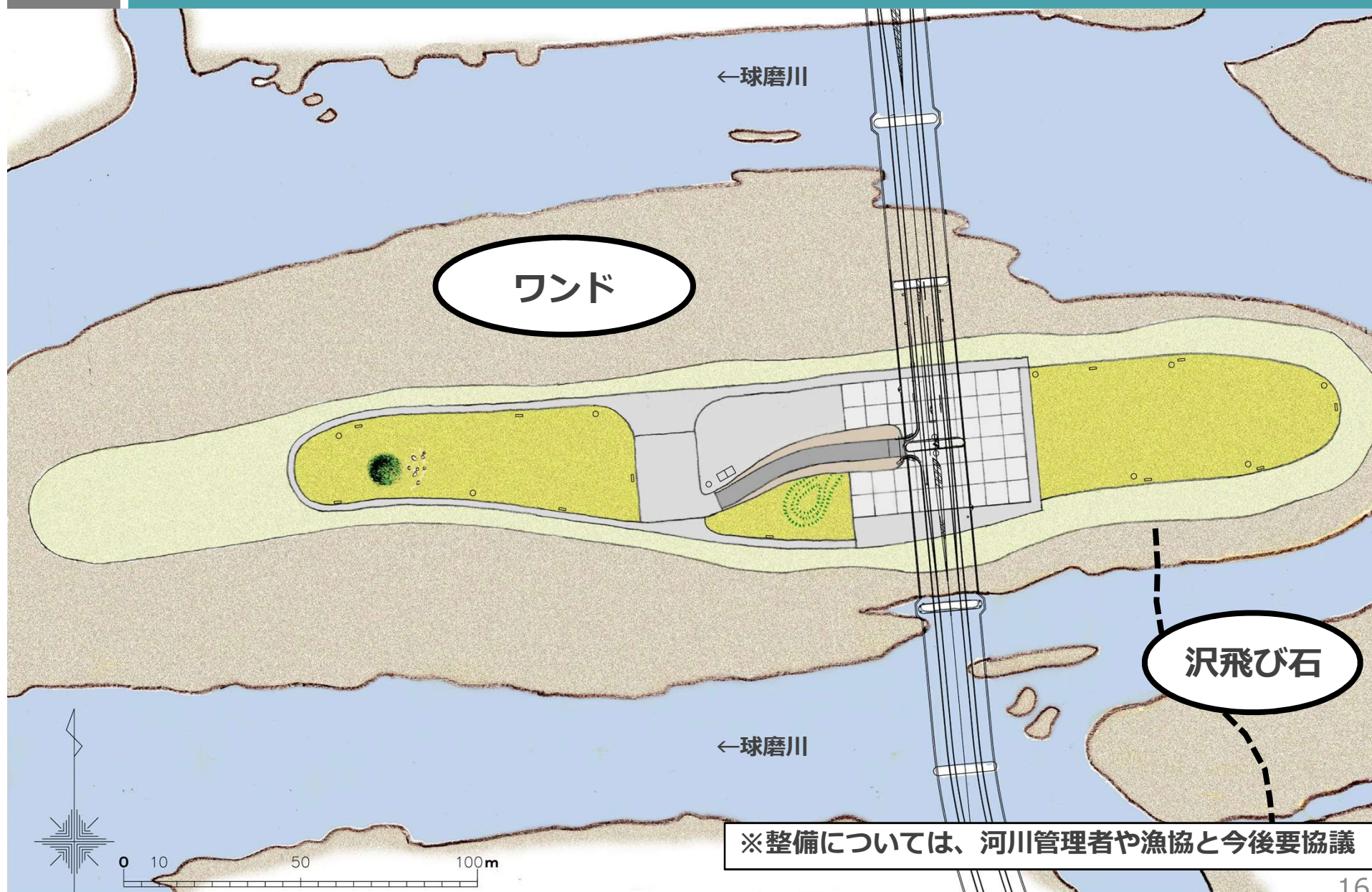
【市】

※公園整備（照明、樹木、ベンチ等）

※浸水状況を見ながら整備検討

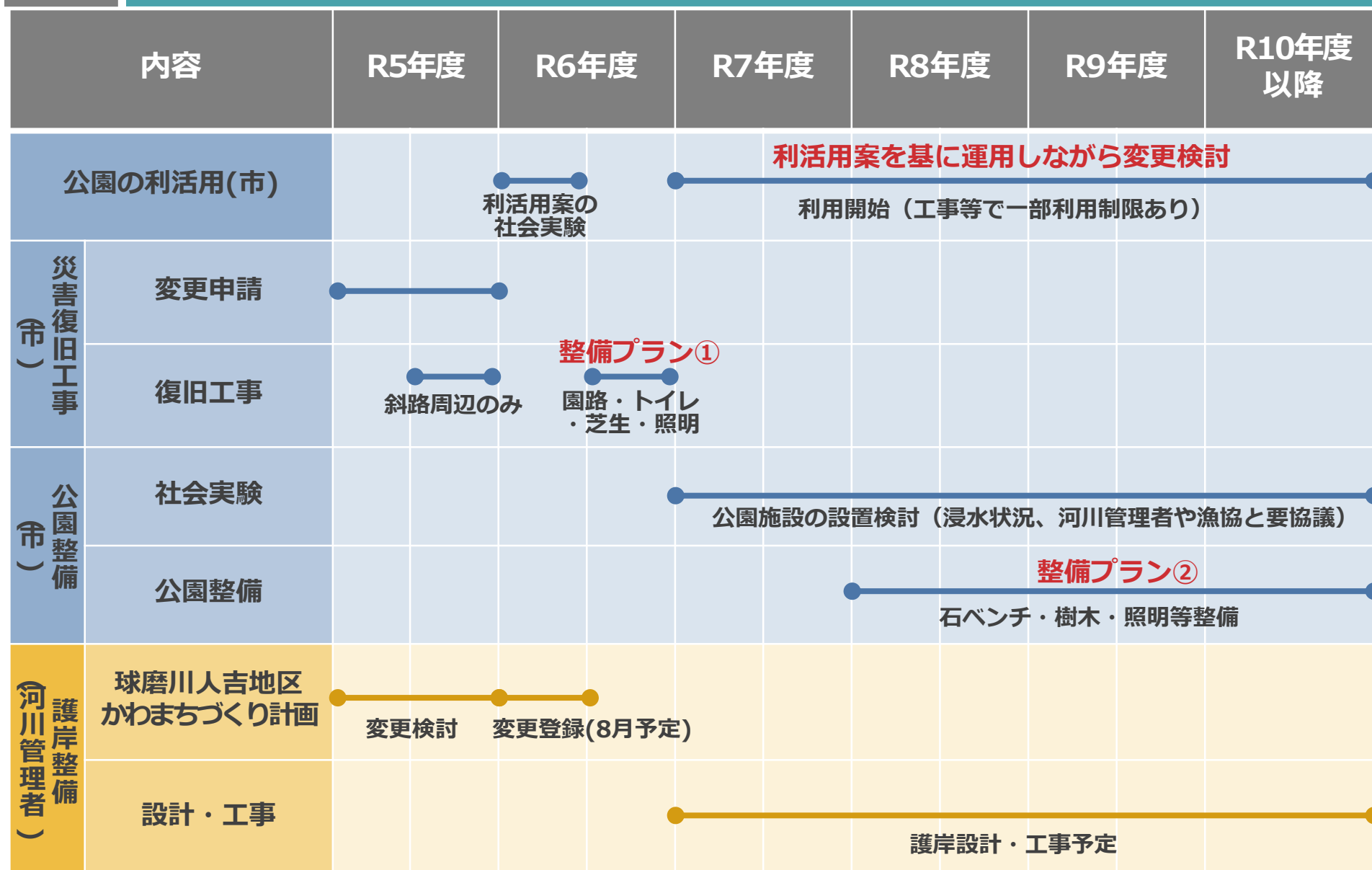
3

整備プラン③（社会実験等で検討する事項）



4

ロードマップ（予定）



5

利活用案と令和6年度の社会実験について

■ 利活用案のための社会実験（令和6年度）

目的：被災前の課題であった駐車等の利用マナー、今後の浸水リスクを含めた運用の検討

- ① 梅雨明け後の1ヶ月間程度開放し、日常的には**徒歩**、週末の日中限定で**車両の乗入れ可**とし、利用状況を確認
- ② 社会実験中は**公園内の照明・手洗い・トイレが未整備のため**、九日町側にある既設トイレ利用や夜間の公園閉鎖
- ③ その他、**かわまちづくり協議会と連携したイベントの実施**

それぞれの利用者の意見や今後の課題などを抽出

■ 令和7年度以降の利活用案

	アクティビティの試行	車両駐車	公園内トイレ
非出水期 (10月～翌5月)	○ (週末1日のみ)	○ (週末1日のみ)	○
出水期 (6月～9月)	×	×	×

(市有地に移動)

- **社会実験を実施**しつつ、収集した利用者の意見を基に、**公園の利活用を検討**し育てていく
- 安全性を確保するため、**雨の状況、河川の状況を考慮した運用を検討**していく
- 河川管理者による護岸整備まで袋詰玉石が残るため、**撤去前後の浸水状況を見ながら公園整備を検討**していく
- 引き続き**復興まちづくり計画**や、**かわまちづくり計画**との**連携・調整**を図っていく



人吉城跡公園編



1

人吉城跡公園の未来を語る会のスケジュール

1

人吉城跡公園の**活用方法**を考えよう！

11/11(土)
9:30~
参加者: 20名

2

城跡公園を含む麓・老神地区について考える！

1/27(土)
1:30~
参加者: 10名

3

公園の**整備イメージ**を共有する！

本日

2

第1回 人吉城跡公園の未来を語る会概要

■目的：これからの城跡公園の活用方法を考える！

■内容

■STEP 1

城跡公園の図面上に、城跡公園や、周辺（中川原公園やHASSENBA、対岸等）での思い出エピソードやお気に入りスポット、絶景スポット等を記入

■STEP 2

STEP 1 で出た魅力を基に、設定したゾーンごとの魅力を高めるための利活用・実現方法の検討



2

第1回 成果

ふるさと歴史の広場周辺エリア



場所	魅力	どう実現するか
ふるさと歴史の広場ゾーン	人が集まる (イベント・休憩場所)	樹木・雑草の整備 日陰の確保 キッチンカー
水辺散策Aゾーン	川への眺め	樹木の整備 川下りとの連携

2 第1回 成果

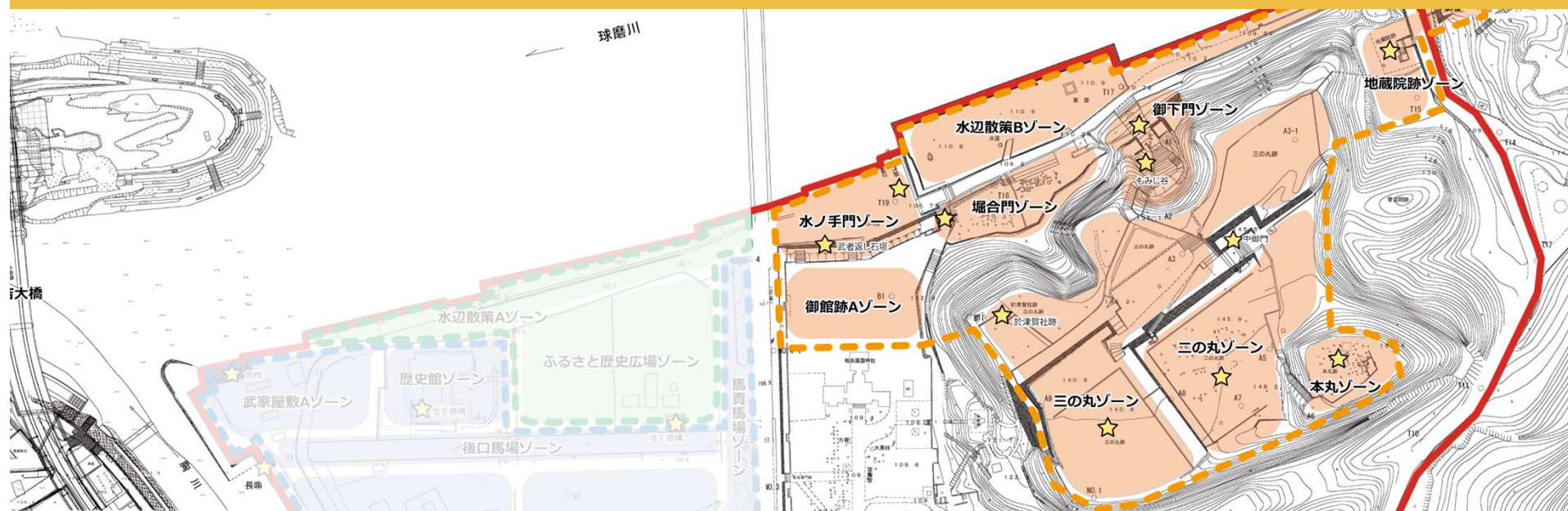
歴史館周辺エリア



場所	魅力	どう実現するか
資料館ゾーン	資料館、歴史	お土産店（グッズ販売） VRやAR、模型で再現
大手門ゾーン	大手門 （歴史的資源として） 大手門 （エントランスとして）	復元 歩きやすく整備 誘導サインの設置
隅櫓	中川原公園へのアクセス	飛び石の設置 親水階段の整備

2 第1回 成果

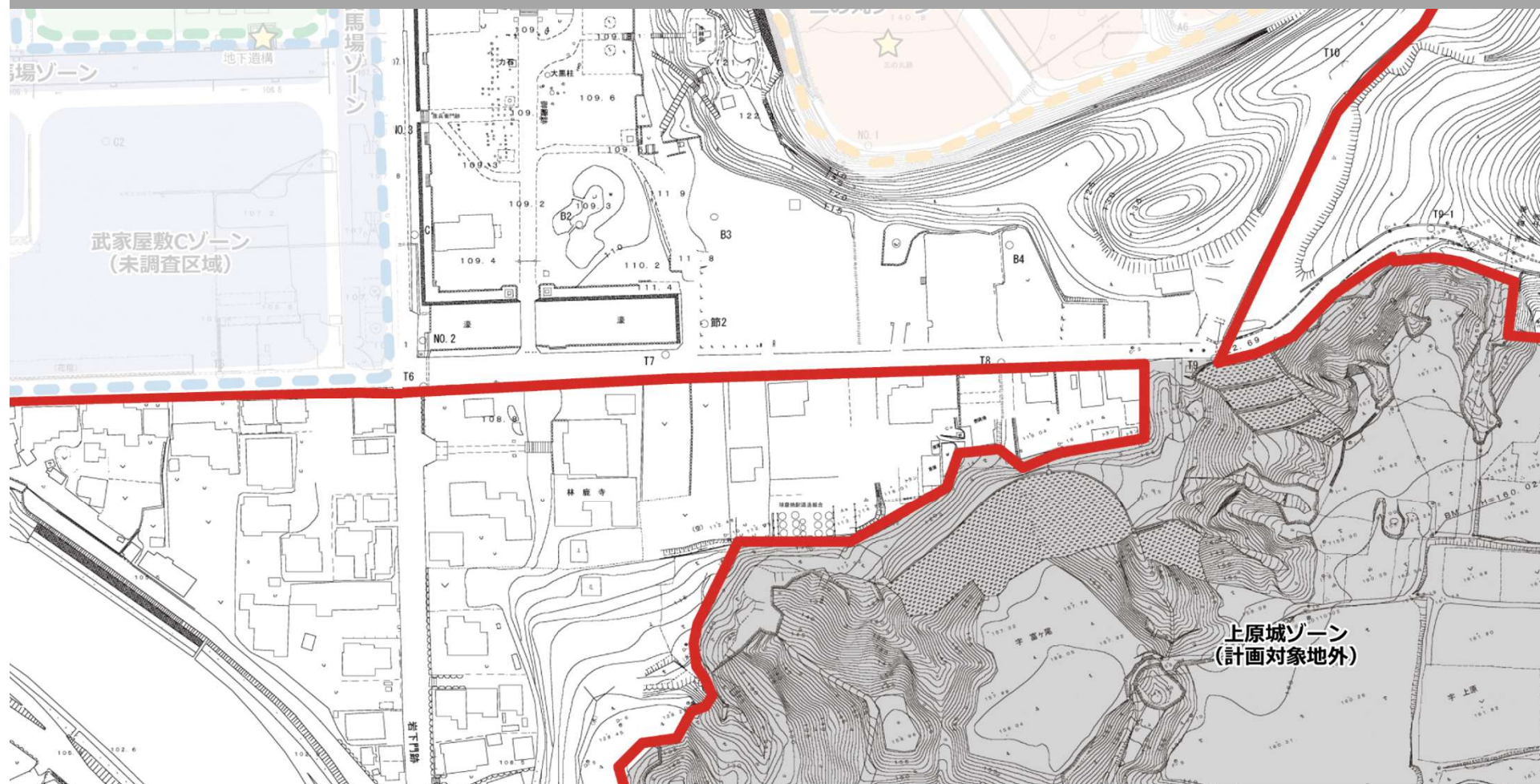
本丸周辺エリア



場所	魅力	どう実現するか
本丸ゾーン	眺望	樹木の整備
二の丸ゾーン	眺望、石垣	樹木の整備 案内板
三の丸ゾーン	眺望、石垣	
水辺散策Bゾーン	眺望、石垣	
地蔵院跡ゾーン	石垣	アクセス検討 安全面の整備 情報発信の充実
全体	歴史的資源	

2 第1回 成果

上原城ゾーン



場所	魅力	どう実現するか
全体	歴史的資源（人吉城跡との比較）	安全面の整備（足場の整備、イノシシ対策）

2

第2回 人吉城跡公園の未来を語る会概要

■目的：麓・老神地区の魅力資源の現場で！五感！！で発見する

■内容

■STEP 1

城跡公園とその周辺の麓・老神地区を対象にまちを歩き、**五感で感じたことや、みんな**で共有したいエピソード、四季の魅力を際立たせる樹木や場所、景色を記入

■STEP 2

STEP 1 のまち歩きして気付いた点などの**意見交換、全体発表に向けた整理、チームの結果を共有**



2

第2回 成果

- ⑥・大井戸遺構→中が見えない
・地下室遺構のみ先行オープンは可能か？売店OK？

- ⑦・移動販売車を駐車場スペースに置く

- ⑧・西南の役の看板→もう少し分かりやすく現地に重点をおいて説明してほしい

- ⑤・東屋が欲しい→歴史館のとなり

- ③・角櫓→建築基準法上の課題がある



- ④・屋敷跡→説明板が欲しい

- ②・多聞櫓の説明が分かりづらい
・やぐらに登っていいか分からない
・多聞櫓→復元物なので、どう管理するのか課題

- ①・ユーカリ（一井先生寄樹）について、看板やQRコード等で説明があれば良い

- ⑩・相良神社への石段の改修
・夏、登る時暑いし、また崩れ始めるので危ない

- ⑫・林正盛と高橋政重 顕彰碑の案内板を設置希望

- エリア全体に関するご意見
・散策コースが分かりやすいように表示してはどうか
・城跡のルートマップを作って欲しい
・英字の説明板がない

- ⑨・災害の時に避難が必要（石垣）

- ⑩・左近の石のミステリーをPRしてはどうか

- ⑪・コーヒーショップはどうか？（球磨川沿い）

- ⑫・2013年に公園係の課長が北外曲輪の桜は切らないと言ったのに今回5本程切った木も税金ですし、植栽計画をきちんと！

- ⑬・御下門跡→VRで見れたらよい（看板が見にくい）

- ⑭・木を伐採したので保水力がなくなり、雨が降ったら下の散歩道に土砂が流れる。これ以上伐採禁止！
・眺望確保のため、この12年間、既に相当伐採した。緑の多い西日本のラピュタ城と呼ばれているし、他の城と差別化する意味でも、もうこれ以上樹齢の長い木も簡単に切らないで頂きたい。

- ⑮・於津賀社跡 碑の修復が必要

- ⑯・三の丸の井戸をわかるように整備してほしい（つじをなくしてもいいかもしれない）
・三の丸に西南戦争についての説明板を取りつけてほしい

- ⑰・木のイスが朽ちているので、改善が必要
・グレーチングの設置
・二の丸の発掘を進めてほしい

- ⑱・本丸の調査をしてほしい（石の意味等）
・本丸の南方の木々を切る（中世城が見えるように）

3

これまでの整備基本方針

2020年3月に史跡人吉城跡整備基本計画第2版で定められた整備基本方針後、様々な背景があったことから、それらを踏まえた**新たな基本方針・位置づけ・活用方法を定める**。

これまでの基本方針

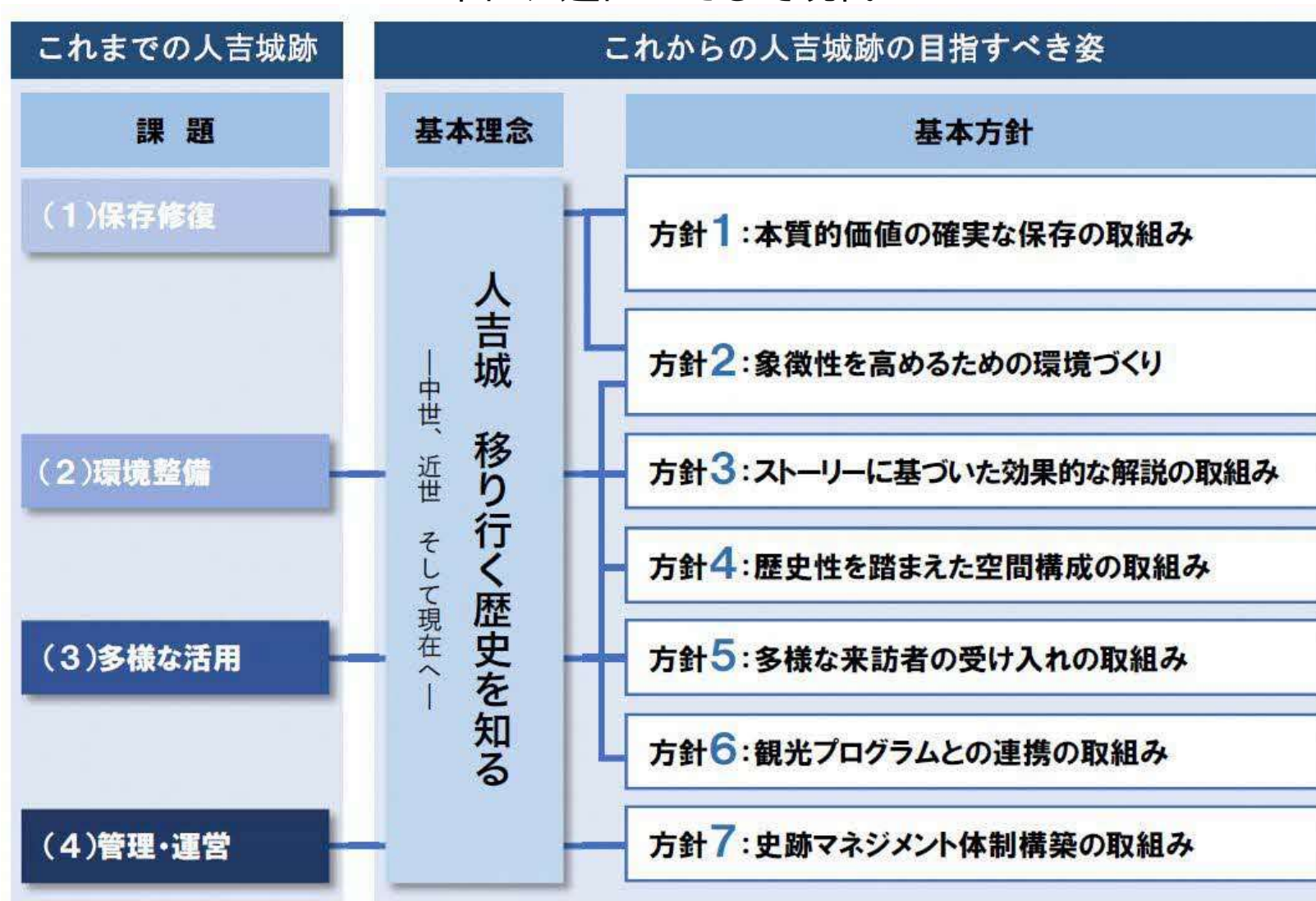
2020	人吉水害（令和2年7月豪雨）	— — →
2021	復興まちづくり計画の策定	— — →
2024	かわまちづくり計画変更の登録(作業中)	— — →
	復興まちづくり計画の改定	— — →
	人吉城跡公園の未来を語る会	— — →

これからの基本方針・位置づけ・活用方法の検討

これまでの整備基本方針（2020年3月）

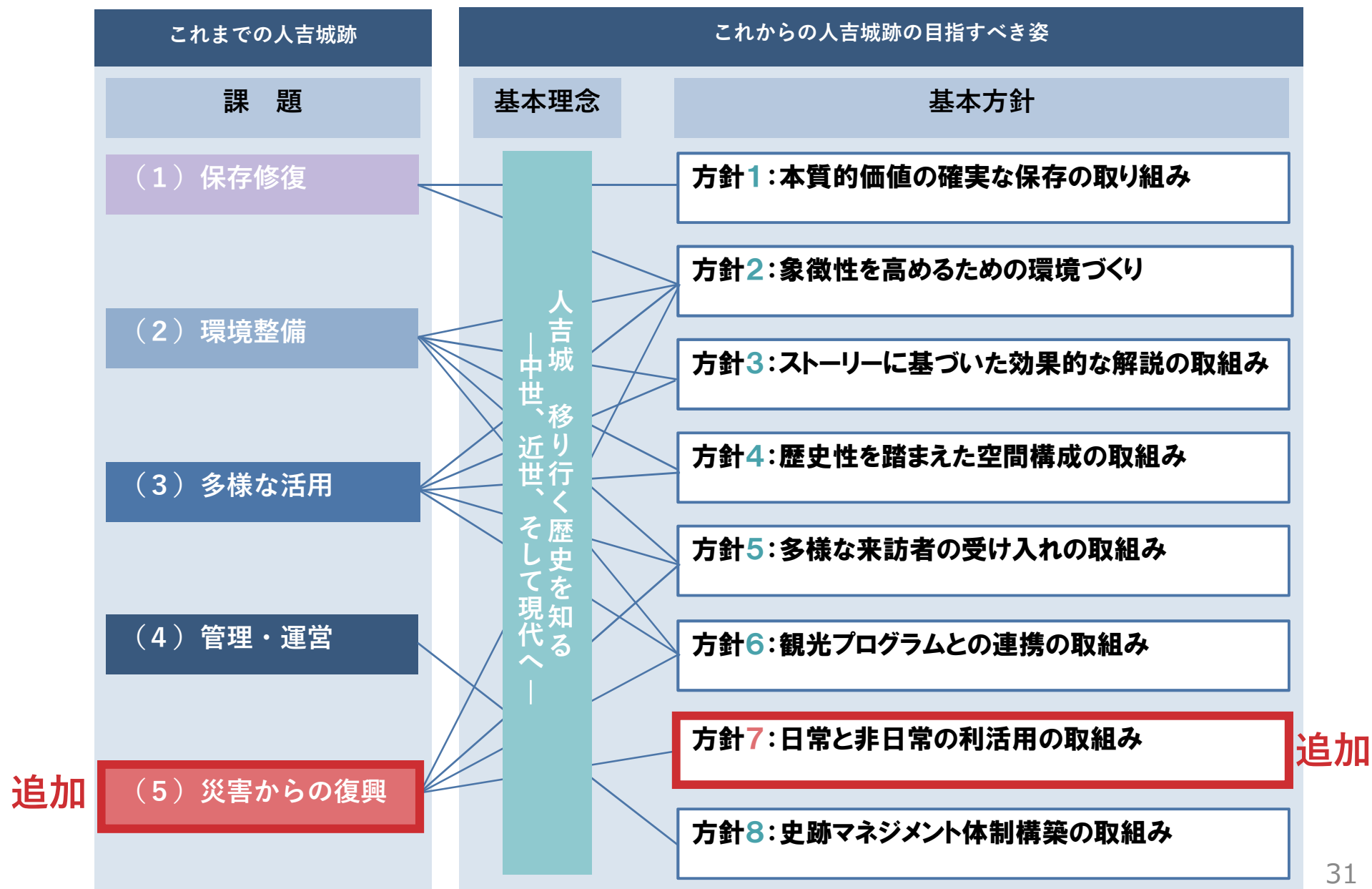
基本理念 人吉城 移り行く歴史を知る

—中世、近世 そして現代へ—



3

これからの整備基本方針



4

各エリアについて

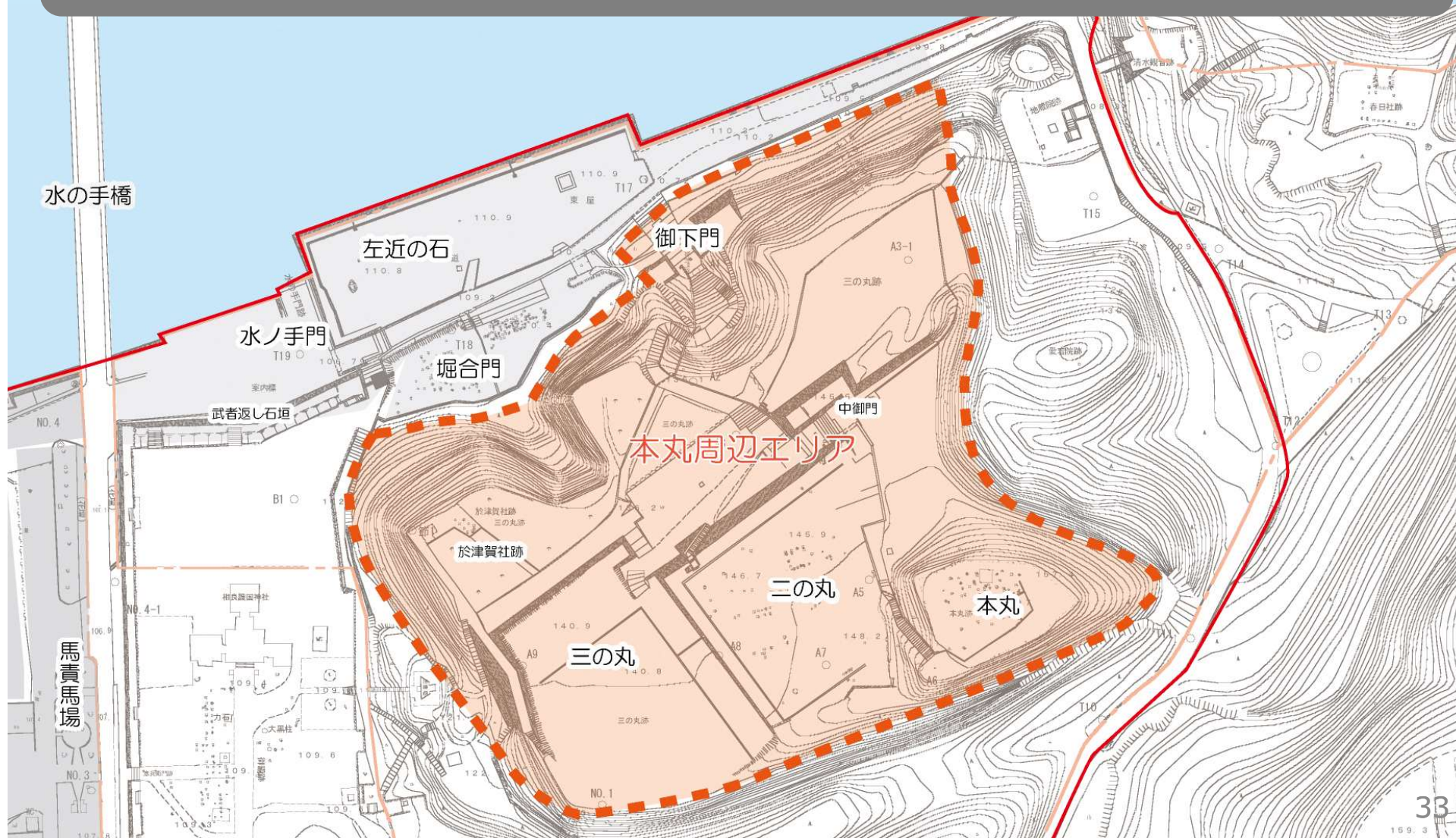
第1回、第2回未来を語る会でいただいたご意見や他計画を基に、本丸周辺エリア、歴史館周辺エリア、ふるさと歴史の広場周辺エリアの3エリアの位置付けや利活用を検討



4

本丸周辺エリア（南側）について

本丸周辺エリア（南側）は、相良家藩主が利用してきた区域である。エリアは、本丸、二の丸、三の丸、御下門を設定。



4

本丸周辺エリア（南側）の活用や整備

本丸付近

- 樹木の間引き
- AR・VRを用いた公園全体の解説サインの設置を検討



短期計画：概ね3年目までの計画
中長期計画：概ね4年目以降の計画

二の丸付近

- 樹木の間引き
- 間引いた樹木でベンチづくりの体験教室を実施し、完成したベンチを休憩施設として老朽化したベンチと交換

御下門付近

- 紅葉のライトアップ
- 紅葉拡大に向けたイベント、アンケートの実施
- 御下門の劣化した名板の更新
- 本丸周辺エリアの案内看板設置

公園全体

- イノシシ等の対策を実施

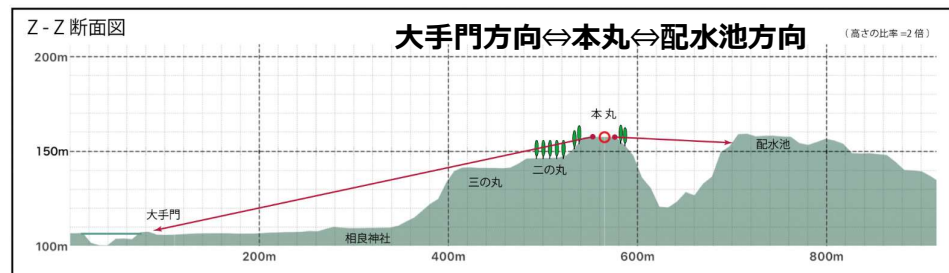
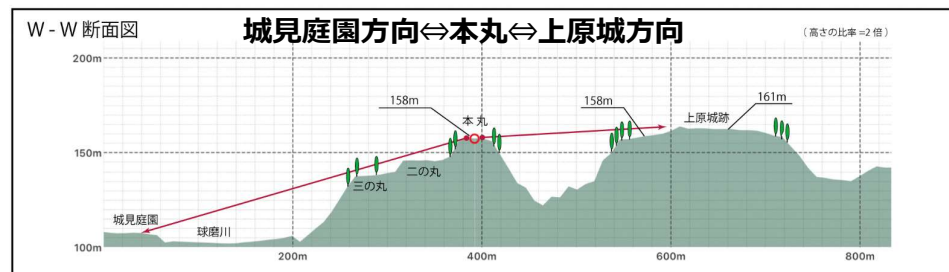
三の丸付近

- 視点場づくりに関するアンケートの実施
- 井戸を露出させるためのツツジの間引き
- VR・ARを活用した昔の街並みを眺望するサインの設置

4

本丸周辺エリア（南側）の活用や整備

■ 樹木の間引き



北西方向を望む



支障樹木群 - う
[堀合門 南斜面]
支障樹木群 - え
[御下門 南斜面]
三の丸の石垣
石垣の際（エッジ）を
隠すツツジ密植

西方向を望む



永国寺
ハゼノキ
[於津賀社跡 西斜面]
支障樹木群 - あ
[忠霊等 東背部]

■ VR・ARを活用した昔の街並みを眺望するサインの設置

- ① 人吉町役場
- ② 球磨郡警察署
- ③ 球磨郡役所
- ④ 観音院
- ⑤ 人吉税務署
- ⑥ 人吉神社
- ⑦ 人吉高等学校
- ⑧ 明治十年戦死碑
- ⑨ 日蓮宗林鹿寺
- ⑩ 東間尋常小学校
- ⑪ 人吉城主相良邸
- ⑫ 人吉区裁判所
- ⑬ 永国禅寺
- ⑭ 人吉老神神社
- ⑮ 本願寺派説教所
- ⑯ 球磨郡立病院
- ⑰ 人吉小林区署
- ⑱ 相良会計方
- ⑲ 九州商業銀行人吉支店
- ⑳ 舟場尋常小学校
- ㉑ 人吉郵便電信局
- ㉒ 葉煙草専売支局人吉出張所
- ㉓ 大谷派説教所

※明治・大正時代の人吉七町より引用



短期計画：概ね3年目までの計画

中長期計画：概ね4年目以降の計画 35

4

本丸周辺エリア（北側）について

本丸周辺エリア（北側）は水ノ手門、堀合門が属しており、かつては水ノ手から物資の搬入搬出が行われ、堀合門は御館に続く門として利用されていた。



4

本丸周辺エリア（北側）の活用や整備

短期計画：概ね3年目までの計画
中長期計画：概ね4年目以降の計画

北外曲輪

- 護岸や広場の草刈りや二の丸や御下門等の遺構にかかる樹木の伐採の実施
- サクラや紅葉等の植栽計画の検討

水ノ手門

- 水辺の散策路、ライトアップに向けた川沿いの草刈りの実施
- 船着き場にAR、VR活用した解説サインの設置
- 船着き場の復元の検討



雑草がある時の写真



雑草がない時の写真



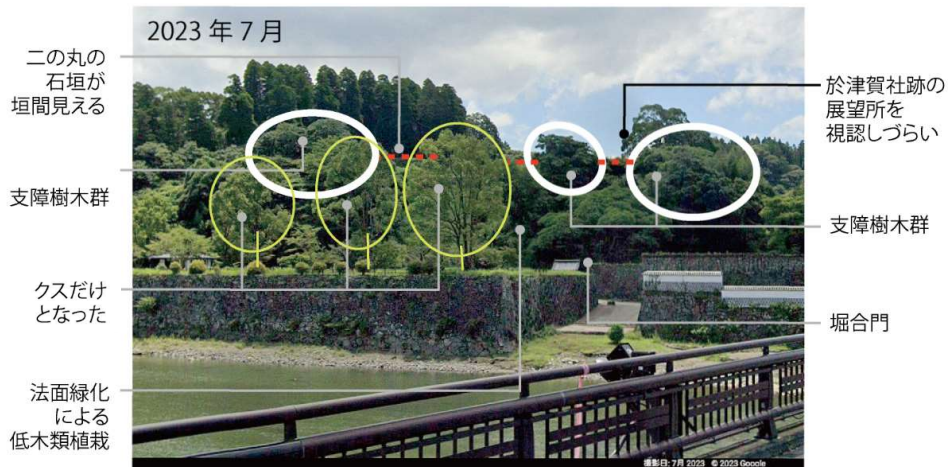
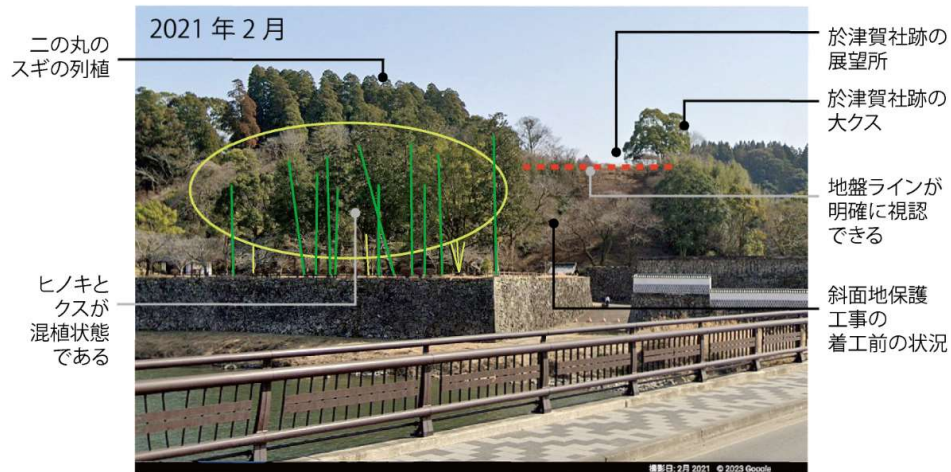
光の復興プロジェクトより引用
(hitoyoshihikari.com)

4

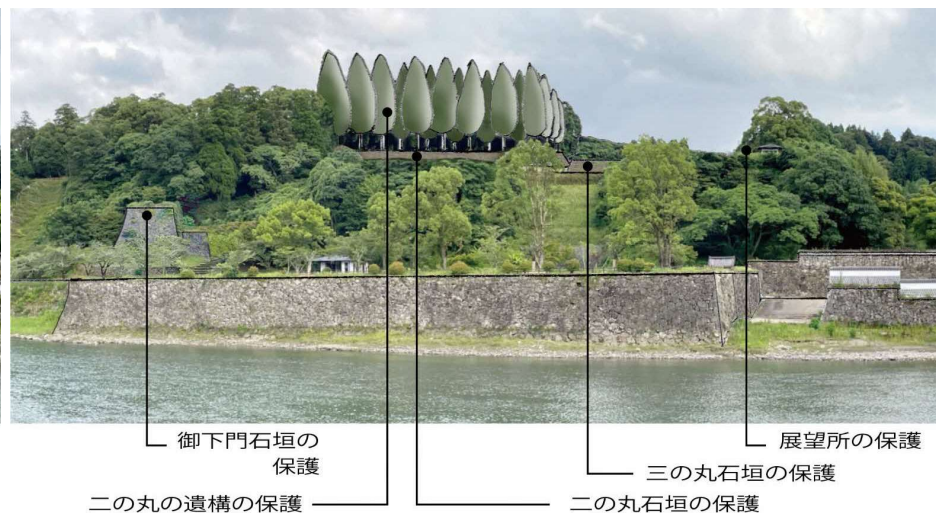
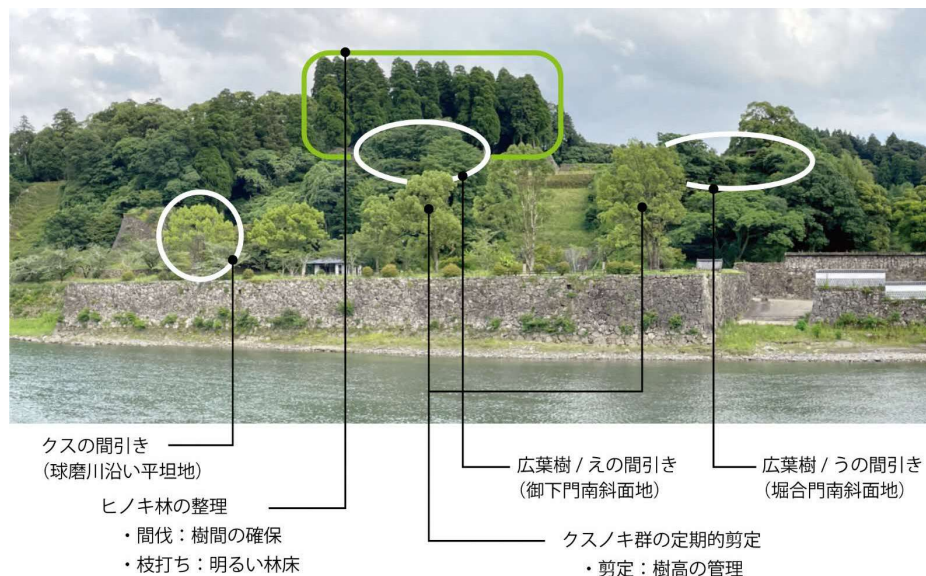
本丸周辺エリア（北側）の活用や整備

■ 水の手橋から水ノ手門の見通し確保に向けた問題点

短期計画：概ね3年目までの計画



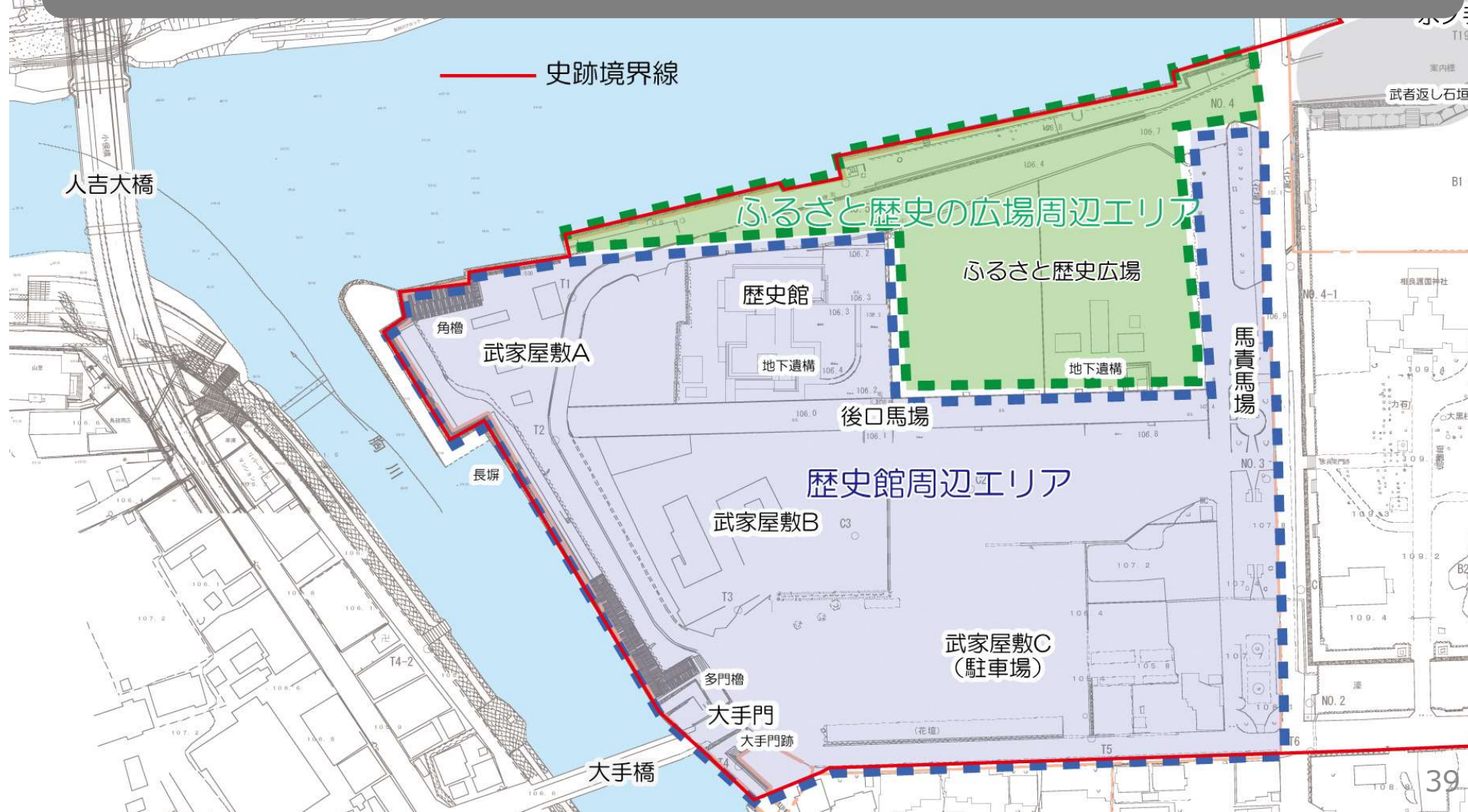
■ 対岸から水ノ手門・御下門・二の丸の見通し確保に向けたシミュレーション



4

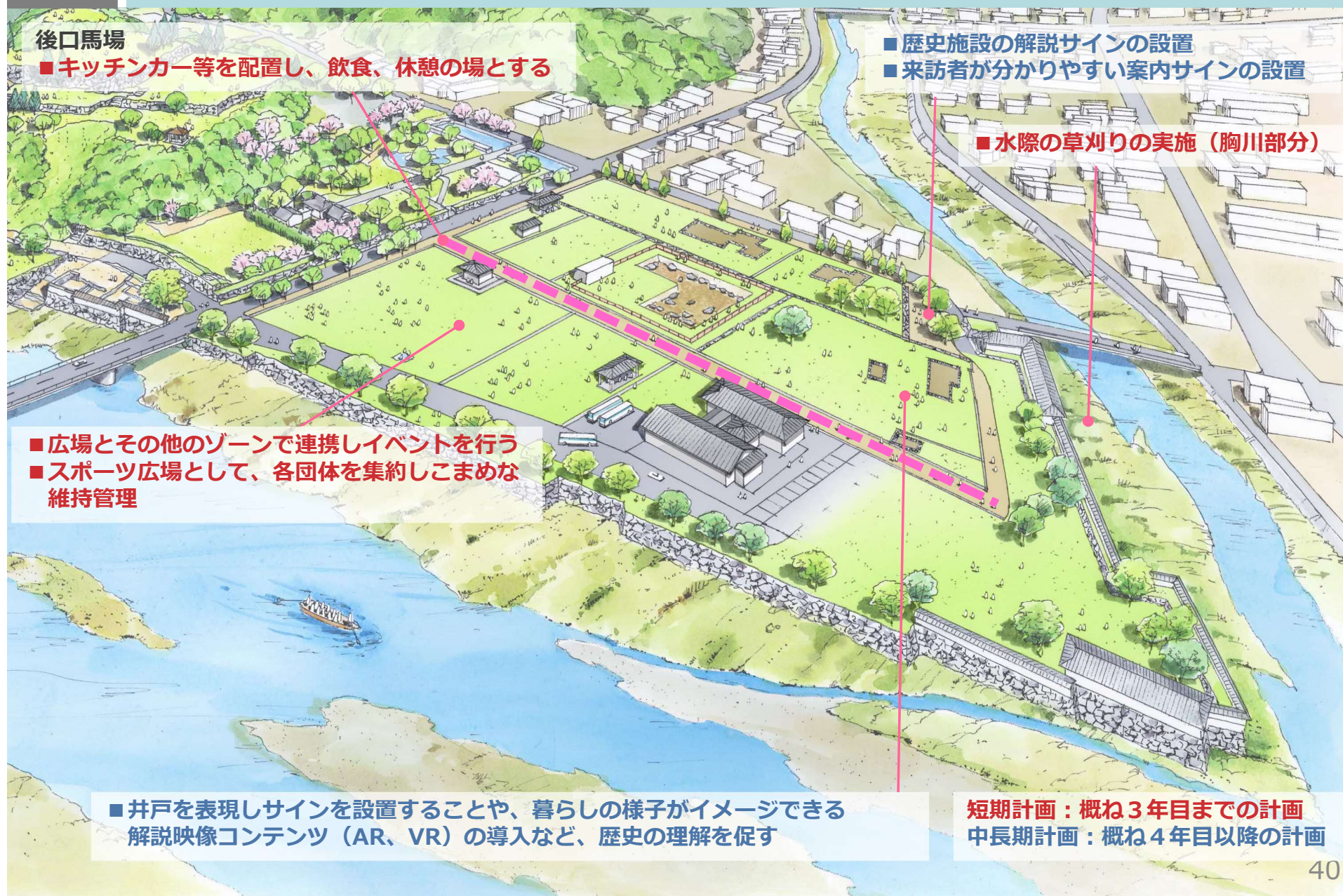
歴史の広場、歴史館エリアについて

両エリアは、西外曲輪に属するエリアであり、後口馬場を挟んだ南北両側の武家屋敷跡は、近世に藩主の主要な家臣団が居住した武家屋敷跡。歴史館周辺エリアの西側の胸川沿いは角櫓、多門櫓を構え、大手門は人吉城の玄関口として機能。



4

歴史の広場、歴史館エリアの活用と整備



4

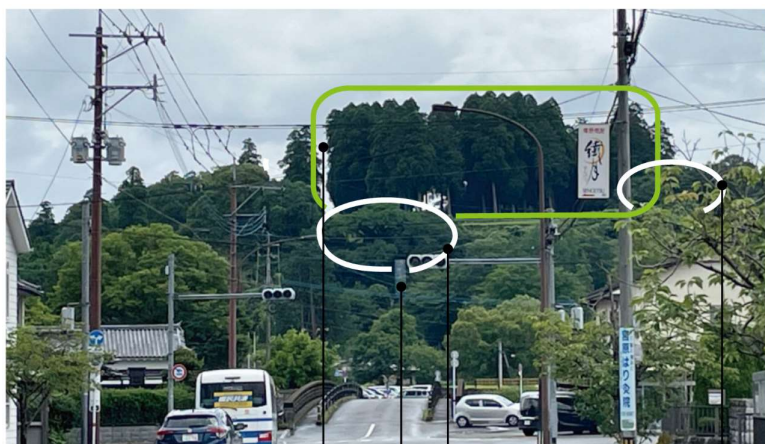
歴史の広場、歴史館エリアの活用と整備

■ 回遊性向上に向けた環境づくりについて

短期計画：概ね3年目までの計画
中長期計画：概ね4年目以降の計画



■ 西側からの見え方



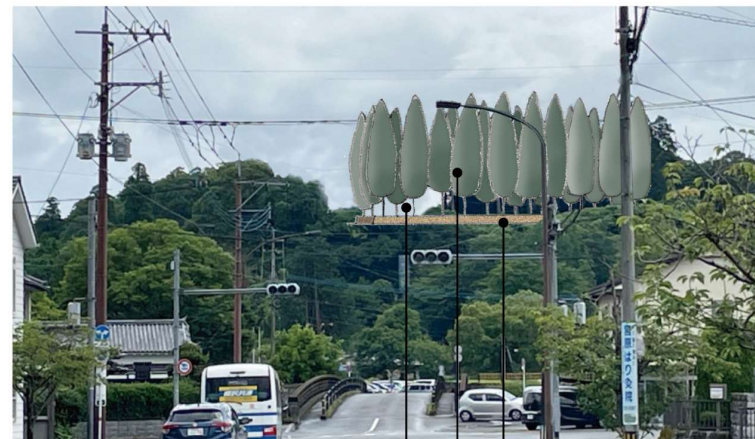
ヒノキ林の整理

- ・間伐：樹間の確保
- ・枝打ち：明るい林床

忠霊塔

広葉樹 / いの間引き
(二の丸石垣東端部)

広葉樹 / あの間引き
(忠霊塔東斜面地)



枝下の見通し確保

二の丸の遺構の象徴化

二の丸石垣の保護

- **社会実験を実施**しながら、収集した意見を基に**徐々に整備を実施**する必要がある
- 人吉城跡公園は関係部署が多岐にわたるため、**調整を図りつつ公園整備**を進めていく
- 石垣や歴史館などが復旧されていくため、**復旧内容に合わせた利活用を検討**していく
- **麓・老神地区の拠点**となる場所のため、**復興まちづくり計画との連携・調整**を図っていく